

プラスチック基本方針

『脱プラスチック社会』の実現に向け、プラスチックごみゼロ企業へ

アンリツグループは、資源循環型社会の実現に向けて、ステークホルダーの皆さまとともに2030年度までにプラスチックごみをゼロにする取り組みを進めます。

【行動指針】

1. ペットボトルの使用抑制を進め、ペットボトルのごみをゼロにします。
2. 製品のプラスチック包装材の使用を抑制するとともに、環境に配慮した素材に置き換えます。
3. 購入する部材に用いられているプラスチック包装材の使用を抑制するとともに、マテリアルリサイクルします。
4. 事業所内で使用する食品包装用プラスチックはマテリアルリサイクルします。

これら取り組みを国内事業所から始め、事業を展開する各国の事情に応じた施策に順次広げていきます。アンリツグループの社員一人ひとりが責任ある行動に努め、持続可能な社会を率先して実現します。

2030 年度、2026 年度目標

アンリツグループは事業活動からのプラスチックごみをゼロにするため、下記の目標に取り組みます。

(対象は国内事業所)

[2030 年度目標]

1. 事業所内でのペットボトルの使用量をゼロ
2. お客様に出荷する製品のプラスチック包装材をゼロ^{*1}
3. 購入する部材に用いられるプラスチック包装材をゼロ^{*1}
4. 事業所からの食品包装用プラスチックのごみをゼロ

[2026 年度目標 (中期目標) ^{*2}]

1. 事業所内でのペットボトルの使用量を半減するとともに、すべてボトル to ボトルのリサイクルを実施する
2. 製品のプラスチック包装材を削減・減量化し、植物由来の素材や再生素材に置き換えることにより化石由来のバージンプラスチックの使用を半減する。さらに、使用するプラスチック包装材の回収を進め、再利用・再資源化する^{*3}
3. 購入する部材に用いられるプラスチック包装材を削減・減量化し、植物由来の素材や再生素材に置き換えを推進するとともに、すべてマテリアルリサイクルする
4. 食堂で使用する食品包装用プラスチックのマテリアルリサイクルを推進する

*1：製品性能の保証を目的としプラスチックが不可欠となる包装材ではバイオマス材や再生材を採用。

*2：2021 年度基準とし、製品の包装材、購入部材に用いられるプラスチック包装材は売上高比で算定。

*3：希望しない顧客は除く。